

文芸部



今回のキマグレでは、文芸部やEnglish Learning Club(以下ELC)を取り上げる。
 ▲『窓』のデザインについて話し合う部員たち

みんなに読んでもらえる部誌を

文芸部は3年生4人、2年生3人の計7人で構成されている。普段は毎週水曜日に活動しており、作品の締め切り前には毎日活動する。活動内容は部誌『窓』の発行やコンクールへの出場、総合文化祭(総文)への参加などで、昨年から俳句甲子園にも出場している。

部長の土坂光星君(3-7)は部の様子について「普段から穏やかに楽しく活動している。部内には上下関係はあまりなく、部員みんなが楽しく活動している。作品を互いに添削するときにも先輩後輩関係なく意見を出し合っている」と話した。加えて部の魅力を「部員同士が仲良くなることを第一の目標としているので、部内の雰囲気はいつも穏やかだ。また総文などにも出場すると自分と似た考えを持つ人と出会うこともできる」と説明した。

編集長の吉澄友雅君(3-7)は部の様子を「みんなが積極的に意見を出し、部誌の制作をどんどん進めていく」と話した。編集長は作品をより良くするために全員の作品を見ているそうで『窓』の発行に向けて「過去の『窓』とレイアウトが被らないよう注意して、一つひとつの作品が目立つように作ってほしい」と意気込んだ。



Let's study English!

ELCの部員は3年生11人、2年生12人、1年生9人の計32人で、毎週木曜日に活動している。活動では英語のディベート練習やスピーチの個人練習などを行っている。

部長の中村陸人君(2-8)は部の良さを「かっちりすぎない雰囲気、みんな仲良く楽しく活動を行っている」と話した。

ALTのカヴィア・サンカヴァラム先生は部の様子について「活動をするときは真面目に、活動後やパーティーのときは友達のように仲良く活動していてメリハリがつけられている。部のみんなが英語に興味があり、真面目にやっやかに話された。」



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号



▲ディスカッションで意見交換を行う部員たち

「説明した。また部長として意識していることを「みんなが英語を上達させられるようにしている」と明かした。

副部長の岩田真衣さん(2-8)は部の魅力を「部員全員で楽しくやりながら、ディベートで使った表現を授業に活かすことができる」と挙げた。また意識していることについて「副部長としては部長のサポートをしっかりとするので、個人としてはみんなと楽しく活動できればと思っている」と微笑んだ。

顧問の辰巳ゆかり先生は部の雰囲気について「和気あいあいとしていて、みんなが集まるとほっとできる」と微笑まれた。また指導していくうえで気をつけていることを「それぞれが自分の役割を意識してできるようにすることだ」と打ち明けられた。